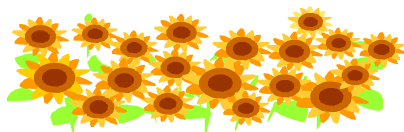


ひまわり通信

いのち輝く子ども



№ 25 平成 18 年 4 月 6 日

東青山小学校

児童数 645 人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

新 1 年生 99 名を迎え、児童数 645 名 20 学級、職員数 37 名で平成 18 年度の東青山小学校の教育活動がスタートしました。今年度は 2 学期制実施の 2 年目に当たり、昨年度の成果と課題を踏まえ、サマースクールや教育相談、学校行事などの教育活動の内容に改善を加えることとしました。また、「特別支援教育推進委員会」「縦割り活動推進委員会」「体力づくり推進委員会」の 3 つの委員会を新設・拡充し、当校における今日的な課題に学校あげて取り組むこととしています。さらに、進路指導（キャリア教育）の充実や小針中学校との連携強化を図りながら、児童一人一人が自分のめあてを達成できるような学校生活となるよう、学校全体で児童への支援をしていきたいと考えています。その他、登下校の安全確保も引き続き大きな課題となっています。そのため、セーフティ・スタッフの増員とともに防犯教室などを実施して、自分の身を守る方法を実践的に学ぶことも必要かと考えています。昨年度同様、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

春休み中、グラウンドではひまわりクラブの 2・3 年生が一生懸命サッカーボールを追いかけてたり、鉄棒や遊具で遊んだりしていました。しかし、この春休み中地域を巡回しても、意外と子どもたちは外で遊んでいないことに気付きました。雨が降っている日はともかく、天気の良い日に公園などで子どもの姿が少ないのです。私は、自然は子どもにとって身近な教師のようなものだと思っています。四季折々の自然を相手に友だちと遊んだり手作りの遊びをしたり、体を通していろいろなことを学ぶことができます。友だちとの遊びを通して友達作りの方法を学び、困難なことや障害を乗り越える方法を身に付けていくことができます。室内でゲームなどをしていては、これらのことを学び取ることは難しいものです。小学校時代にこそ自然にふれる体験活動を通して、友だちと体をぶつけ合って遊んだり、探求したりしていくことを体験し、人間関係作りの基礎を養うよい機会と考えています。今年度新たなに取り組む「縦割り活動」はそんな期待をもっています。

さて、新しい教職員を 8 名迎えました。東青山小学校に新しい風を起こしてくれるものと期待しています。今日の始業式で担任発表をさせていただきましたが、子どもたちの目は輝いていました。それに負けず、子どもたちとの新しい出会いに、担任も目を輝かせていました。

今年度もよろしくお願いいたします。

【18 年度転入教職員】

教 頭	伊丹 和哉	佐渡市立片野尾小学校から
教 諭	羽二生恵利子	新潟市立和納小学校から
教 諭	齋藤 博	新潟市立大形小学校から
教 諭	秋山 真琴	三条市立井栗小学校から
講 師	藤井 紳江	新潟市立養護学校から
栄養士	赤原 友子	新潟市民病院から
用務員	戸松 正明	新潟市立笹口小学校から
介助員	伊丹 ゆき	新潟市立笹口小学校から

